

新宮山彦ぐるーぷ第2094回

平治宿小屋前にテーブルとベンチを設置

◇実施日：2020年8月30日（日）晴

◇参加者：沖崎吉信、濱野兼吉、山川治雄、岩本信行、梶野照雄
5名



持経宿に着く

天板を加工

平治宿に出発

8月2日、9名で持経・平治へ向きお盆の御供やトイレの改修作業を行った時、平治宿前の広場にテーブル・ベンチが欲しいと発言した。これに山川さんが早速反応、3日ほど前に「板を3枚作った。今度の土曜日から日曜日に平治宿へ荷揚げしたいので協力をお願いします」との連絡があった。梶野君に連絡すると、アルミ製のテー

ブル足を作って持って行くとのことだった。荷物のボリュームが判らないので、3人では心もとないかと思い、濱野、岩本の両君に要請、お二人にも呼応頂いた。

当日8時30分少し前、池原のスポーツ公園に集合する。すぐに作業手順の話になる。天板を加工、持参した山川さんとアルミの足を作った梶野君が寸法などの打ち合わせを事前にしていないので、話がかみ合わず結論が出ない。結局、アルミ足のサイズ変更はできないので、表板を足のサイズに合す事になり持経宿に向けて出発した。



テーブル足の組立

テーブル完成

昼食中

池郷林道の路面状況はいつも通りで特別荒れたところは無かったが、山川車がパンク、左前輪内側が5cm切れていた。40分程で持経宿に到着。すぐに天板の加工を始める。アルミ足のサイズは150×70cm、表板の長さは220cmで幅が20cmほど、暑さが32mmある。150cmに合すと3枚では幅が70cmに届かない。70cm

を3枚、合計で9枚の板を作った。電動の丸鋸を持参したので、発電機を始動し10分足らずで9枚の板が完成した。中前君が寄贈してくれた新しい発電機はすこぶる快調で、一発始動。丸鋸を使ってもエンジン音はそれほど変わる事も無かった。

板9枚にアルミの足、それに栈木の杭として鉄パイプ13本(8×9kg)を5人がそれぞれ背負子に載せて平治宿を目指す。

岩本さんは板4枚と自分のザックで20kg越えの重荷を運ばれた。途中3回休憩して10時半過ぎに平治宿到着。道中の奥駈道に異常は無かった。

到着後すぐに作業開始、私(沖崎)は前回やり残した小屋横の物入れ・物置の整理に掛かる。水場径改修に必要な道具類の確認と整理だが、二段目下段は不用品をねじ込んだままの状態だ。ブルーシートだけでも12×13枚が確認できた。不用品を持ち帰りとして、整理に一時間を要した。

小屋前に行くとも広場にアルミ足が出来上がっていた。どんな風なものかはイメージ出来ていなかったが、これを見て皆さん大いに納得、製作に2日かかったというのが良く判る。天板を乗せたところで昼食とした。

午後、梶野、濱野の2名はトイレドアの丁番交換、他の3名でベンチの製作にかかる。ベンチ材料は持参して来なかったので現地調達する。ヒメシヤラを片方に、もう一方は小屋にあった古い角材を使い、栈木杭に持参した鉄パイプや鉄筋を利用して固定した。

完成したベンチに5人が座り記念写真に納まる。

テーブルの脚がアルミ製なので30年位は持ちそうだ。立派なものだ、ご苦労様でした。



トイレドア丁番交換

本日の参加者

ベンチも完成

持経宿に戻って戸締りを確認後、池原に向かう。ゲート手前で沢登りの装備の3名が歩いているのに遭遇、ゲートを過ぎて同じく沢登りの男性2名を池原まで乗せる。彼らは池原から歩いて池郷川を遡上して、再び歩いて池原に戻る途中だった。好きなことをしているとはいへ、池原から往復を歩くとは！若者だからこそ、とさえ思えた。

(記：沖崎、写真：梶野、岩本)

行動タイム

スポーツ公園 08:30→09:11 持経宿 09:51→11:05 平治宿 13:30→14:30 持経宿 14:43→15:25 スポーツ公園